

江田島市教育委員会事務点検・評価報告書
(令和6年度事業対象)

令和7年6月
江田島市教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度の概要	1
2	点検・評価の結果（8事業）	
	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る	2
	・道徳教育、人権教育の充実を図る	3
	・運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る	4
	・教職員による不祥事を0（ゼロ）を継続する	5
	・実施事業に対する満足感の向上を図る	6
	・公共スポーツ施設の利用促進を図る	7
	・図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る	8
	・さとうみ科学館の利用者の増加を図る	9
3	外部評価委員の意見	10
4	総合評価	14
5	その他	15
資料1	令和6年度江田島市教育委員会 経営計画	19
資料2	令和6年度江田島市教育委員会 自己評価表	21

1 教育委員会の点検・評価制度の概要

(1) 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することを義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、江田島市教育委員会が行った点検・評価の結果をまとめたものです。

なお、同法の規定の「教育に関し学識経験を有する者」については、本市では、外部評価委員（3名）とし、教育委員会自らが行った点検・評価の結果に対して、意見をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象年度

令和6年度

(3) 点検・評価の対象事業

教育委員会は、令和5年度末の現状を分析した上で、特に重点を置いて取り組みたい8事業を定め、令和6年度江田島市教育委員会経営計画としてまとめました。

令和6年度に実施したこれら8事業の取組を点検・評価の対象とします。

2 点検・評価の結果

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現
短期経営目標	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。

1 短期経営目標（具体）

「主体的な学び」が定着している児童生徒の割合 広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(11)～(29)の肯定的回答割合の平均値 小学校 70%、中学校 70%（1月調査）
江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回った学年の数 →全ての学年において各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回る。

2 取組・方策

○児童生徒の実態に応じ、個別最適な学びと協働的な学びの視点から授業改善に挑戦している教員と、授業づくりについて考える研修を2回設けた。（1月28日、2月25日）
○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて個別最適な学びと協働的な学びの実践を進めるために、外部講師を招へいする等、研修の機会を設けた。（5月15日、11月7日、1月30日）
○江田島市教務主任及び研究主任研修において、児童生徒の実態に応じ、学力定着に向けた授業改善を図るよう指導助言を行った。（5月15日、10月3日、11月7日、1月30日、2月20日） また、校長会及び教頭会において、令和6年度全国学力・学習状況調査の市全体の結果を提示し、授業改善に向けた組織的な取組について指導助言を行った。（9月5日、9月10日）

3 評価

評価指標	① 「主体的な学び」が定着している児童生徒の割合（令和6年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(11)～(29)の肯定的回答割合の平均値による） ② 江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回った学年の数
基準値 （令和4年度時点）	① 小学校 69.4% 中学校 62.5% ② 4/8（小1・3・5・6学年）※中3を除く。
目標値 （令和6年度）	小学校 70%、中学校 70% 江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計 →全ての学年において各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回る。
実績値 （令和6年度）	① 小学校 76.6% 中学校 76.1% ② 6/8（小1・2・3・4・5・6学年）※中3を除く。
【総合評価】 ○目標を達成できなかった。	

4 改善策

○中学校において学力調査の目標を達成できていないことから、特に課題のあった教科に関して、個別最適な学びと協働的な学びの視点から、授業づくりについて考える研修を複数回実施する。
○学力に課題のある児童生徒の学力向上を図るため、外部講師を招へいし、学力のつまずきに応じた具体的な教科等指導における個別の支援や系統的な支援の充実に焦点を当てた学びの基盤研修会を実施する。
○主催研修において、学力調査を基にした各校の取組状況を確認し、指導助言を行う。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現
短期経営目標	道徳教育、人権教育の充実を図る。

1 短期経営目標（具体）

自己実現力・自己効力感がある児童生徒の割合
 広島県学習意欲等調査児童生徒質問紙：(43)～(47)の肯定的回答の平均値
 小学校 85%、中学校 75%（1月調査）

2 取組・方策

- 児童生徒が主体的に取組を進めている自治的活動のヒントとなる好事例等について情報提供した。（2月21日）
 また、集団宿泊活動において、「山・海・島」体験活動評価検証アンケート（豊かな心と身体育成課）を活用し、豊かな心を持ち、学びを生かして新たなことに挑戦しようとする児童の育成に資する働きかけを行った。
- 各校の道徳教育推進教師を対象に、江田島市道徳教育推進協議会を実施し、道徳教育の充実に係る指導を行った。（6月27日、8月23日、9月26日）
 また、各校の人権教育担当者を対象に、江田島市人権教育研修を実施し、人権教育の充実に係る指導を行った。（6月11日）
- 一部の学校を対象としたものになるが、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」をベースとしたキャリア教育と関連する資質・能力の育成について、指導助言を行った。（7月2日、8月6日）

3 評価

評価指標	自己実現力・自己効力感がある児童生徒の割合 （令和6年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(43)～(47)の肯定的回答割合の平均値による）
基準値 （令和4年度時点）	小学校 81.5% 中学校 72.1%
目標値 （令和6年度）	小学校 85% 中学校 75%
実績値 （令和6年度）	小学校 86.7% 中学校 79.2%
【総合評価】	
○目標を達成できた。	

4 改善策

- 県の指定を受けた大柿中学校区道徳教育推進拠点地域事業の公開研究会に各校の道徳教育推進教師を参加させるとともに、江田島市道徳教育推進協議会において、道徳アンケート結果を基にした協議を充実させる。
- 「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を基に、キャリア教育と各教科の取組を関連付けた指導助言を引き続き行う。
- 「さとうみ学習」の推進により、海のことに関する学習や体験活動の充実を図り、児童生徒の自己実現力・自己効力感及び郷土愛の醸成に努める。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現
短期経営目標	運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る。

1 短期経営目標（具体）

<p>「運動やスポーツが好き」と答える児童生徒の割合 小5男・女 90%以上 中2男 90%以上・女 80%以上（1月調査）</p>
--

2 取組・方策

<ul style="list-style-type: none"> ○各種体力調査の結果を分析し、児童生徒の実態に応じた授業改善を図るように指導助言を行うとともにスポーツ推進員派遣事業を活用した教育活動の展開についても呼びかけた。（12月10日：校長会） ○関係機関等と連携した取組等を通して、運動やスポーツに対する関心を高め、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育み、個の目標に向けた体力づくりを継続的に進めるよう、指導の充実を努める。（各校の校内研修、出前授業等で随時実施） ○「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、運動やスポーツを楽しみながら体力向上に資する実践について指導助言を行った。（7月9日：広島県教育委員会豊かな心と身体育成課の指導主事を招へい、10月10日広島県西部教育事務所指導主事を招へい）
--

3 評価

評価指標	「運動やスポーツが好き」に対する肯定的回答の割合 （令和6年度広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙による）
基準値 （令和4年度時点）	小5男 93.4% 女 87.2% 中2男 79.1% 女 73.1%
目標値（令和6年度）	小5男・女 90%以上 中2男 90%以上・女 80%以上
実績値（令和6年度）	小5男 86.5% 女 81.8% 中2男 90.7% 女 70.2%
<p>【総合評価】 ○目標を達成できたのは、中2男子のみとなった。 ○中間報告の際の結果と比較すると、中2男子は数値が上昇、小5男・女、中2女子については数値が低下した。</p>	

4 改善策

<ul style="list-style-type: none"> ○全国及び広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、児童生徒の実態に応じた授業改善を図るよう指導助言を行う。 ○「小・中学校体育指導推進リーダー等研修会」の機会を活用するなどして、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育む取組を継続的に進める。 ○体育科の水泳の内容とマリンスポーツの体験を関連付けた学習指導の機会を設けるなどの工夫を行う。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	安全・安心な学校づくりの推進
短期経営目標	教職員による不祥事を0（ゼロ）を継続する。

1 短期経営目標（具体）

懲戒処分の件数 0件

2 取組・方策

- 校長会、教頭・事務長会等において、「服務規律の確保」に関する内容の講話等を行った。また、7月の校長会において外部講師を招聘し、不祥事防止に向けて講話を行った。各校で服務規律に関する校内研修が行われた場合、報告書を提出してもらい、進捗状況を把握している。
- ・2月末までに17回の講話又は講義を実施した。
- 「不祥事を発生させない環境づくり」について、校内で点検を実施し、4月末までに報告書を提出してもらった。
- 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、重点的な取組を行った。
- ・以下の2点について取り組み、実施率は100%であった。
 - ① 管理職は、目標管理に係る業績評価（自己申告）における当初申告の面談時に不祥事根絶に係る指導を行う。

- ・教職員一人一人の悩みや健康状態、職場でのストレスの有無などを丁寧に聞き取り、個々の状況を把握する。
 - ・飲酒の有無や自己の運転の状況等を聞き取りながら適切に指導するとともに、相談しやすい良好な信頼関係を構築する。
 - ② 過去に江田島市で生じた事案を踏まえ、服務研修（校内研修）に係る事例を紹介した。
- 学期ごとに「体罰・セクハラに関する実態把握」のアンケートを実施し、必要に応じて対応した。
- 教育課程の確実な実施に向け、各校を訪問し、諸帳簿の点検等を行い、必要に応じて指導助言を行った。また、年度末に各校の授業実施時数の状況を把握することとしている。

3 評価

評価指標	懲戒処分件数
基準値（令和4年度時点）	0件
目標値（令和6年度）	0件
実績値（令和6年度）	1件

【総合評価】

○定めた取組・方策を計画的に実施したが、6月にセクハラによる懲戒処分が1件出ている。

4 改善策

- 今後も、校長会、教頭・事務長会において、「服務規律の確保」に関して講話を行うとともに、各校の服務規律に係る校内研修の好事例を紹介するなど、不祥事防止に向けた取組を工夫し、進捗状況を確認していく。また、各校が活用した研修資料等について、サイボウズの「ファイル管理」で共有を図り、必要に応じて活用できるようにしていく。
- 体罰・セクハラアンケートを継続し、実態把握及び早期対応に努める。
- 教育課程の確実な実施に向け、全体で周知が必要となる内容については、校長会等で指導を行う。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	魅力ある事業づくりを推進する。
短期経営目標	実施事業に対する満足感の向上を図る。

1 短期経営目標（具体）

実施事業に対する満足感の向上を図る。（目標値：満足度 4.48）

2 取組・方策

- 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高めることができる企画内容とした。
- ・教育参考館特別展：「江田島市とスポーツの関わり」及び「江田島市の陸・海軍遺跡の紹介」をテーマに開催した。（7/22～8/25、来場者 575 名）
 - ・ふれあいコンサート：小蔦寛二（ピアノ）、足利水月（ヴァイオリン）及び広島ウインドオーケストラ金管 5 重奏出演によるコンサートを開催した。（8/17、来場者 245 名）
 - ・歴史講座：各地区を散策しながら、歴史講座を年 3 回実施した。
（10/26、1/25、3/15、参加者 37 名）
 - ・市美術展：公募作品とともに市制 20 周年記念として、第 10 回から第 19 回までの一般部門の大賞作品を展示。また、市文化協会と連携し、ミニコンサートや喫茶コーナーを開催した。
（11/2～11/4、来場者 949 名）
 - ・人権学習講演会：若年層の関心を高めるため、市 PTA 連合会と連携し、また、社会教育委員の意見も参考とし、三ツ矢 雄二氏を講師と選定した。（1/25、来場者 147 名）
- 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努めた。
- 関係団体と連携を図るとともに、市広報や積極的な SNS 活用により PR 強化を図った。

3 評価

評価指標	実施事業に対する満足度
基準値（令和4年度時点）	実施事業に対する満足度 4.46
目標値（令和6年度）	実施事業に対する満足度 4.48
実績値（令和6年度）	実施事業に対する満足度 4.43

【総合評価】

○達成率 令和6年度実施事業に対する満足度 4.43 ÷ 目標値 4.48 ≒ 98.8%

満足度：5段階評価 ⑤とても満足した ④満足した ③普通 ②不満 ①とても不満

教育参考館	⑤62人	④78人	③18人	②3人	①0人	計161人
コンサート	⑤117人	④54人	③3人	②0人	①0人	計174人
市美展	⑤165人	④144人	③14人	②0人	①0人	計323人
人権	⑤43人	④50人	③16人	②3人	①1人	計113人
歴史1回	⑤13人	④2人	③0人	②0人	①0人	計15人
歴史2回	⑤5人	④2人	③0人	②0人	①0人	計7人
歴史3回	⑤9人	④3人	③0人	②0人	①0人	計12人
合計	⑤414人	④333人	③51人	②6人	①1人	計805人

414人×5 + 333人×4 + 51人×3 + 6人×2 + 1人×1 = 3,568

3,568 ÷ 805人 ≒ 満足度 4.43

4 改善策

- 市民のニーズに対応するため、アンケートを実施し事業内容を充実させる。
- 関係機関と連携を図り、円滑な運営に努める。
- 市広報や積極的に SNS などを活用することで、PR 強化を図る。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	健康づくり、体力づくりを推進する。
短期経営目標	公共スポーツ施設の利用促進を図る。

1 短期経営目標（具体）

公共スポーツ施設の利用促進を図る。

（目標値：①スポーツセンター：1.44回 ②総合運動公園：0.72回）

2 取組・方策

- 利用者が安全・安心に施設利用できるよう適宜、修繕・改修を実施した。
 - ・スポーツセンターについてはアリーナの液晶時計の取替、柔道場の照明のLED化、トイレの便座を温水洗浄した。
 - ・総合運動公園についてはテニスコートや女子トイレの改修、照明の点検・取替、フェンスの取付けを行った。
- 広報えたじまに e スポーツクラブの記事を掲載し、活動やイベント内容について紹介していく。
- スポーツ協会、e スポーツクラブ、スポーツ少年団についてPRし、団体への加入・参加を推進する。

3 評価

評価指標	人口1人当たりのスポーツセンター及び総合運動公園の利用回数
基準値 （令和4年度時点）	① スポーツセンター：1.34回 ② 総合運動公園：0.62回
目標値 （令和6年度）	① スポーツセンター：1.44回 ② 総合運動公園：0.72回
実績値 （令和6年度）	① スポーツセンター：1.56回 ② 総合運動公園：0.64回
【総合評価】	
①スポーツセンター：年間利用者数 31,736 人 ÷ R7.3 末人口数 20,286 人 = 1.56 回	
②総合運動公園：年間利用者数 13,050 人 ÷ R7.3 末人口数 20,286 人 = 0.64 回	

4 改善策

- 施設利用者の利便性を考慮しながら、安全・安心に施設を利用してもらえるように努める。
また、適宜、修繕・改修を実施する。
- 各スポーツ関係団体と連携を図り、市民へのPRに努める。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	図書館の充実を図る。
短期経営目標	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。
 （目標値：①年間貸出冊数 3.42 冊、②年間来館者数 1.54 回）

2 取組・方策

○事業実施

- ・ 2館1室合同の「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」を7月1日から9月30日まで実施し来館者の増加を図った。
- ・ 小学校高学年を対象とした「子ども司書」養成講座を6月から2館において開始し、全体研修、実地研修及び秋の活動を実施した。今年度は3名子ども司書に認証された。
- ・ テーマ展示を定期的に行い、図書の利用促進を図った。
- ・ 出前講座を開催し、図書館事業の周知を図った。

○広報活動

- ・ 「読書貯金通帳」（大人・子ども用）及びHP「My 本棚」等の活用を周知した。
- ・ スタンプラリーやミニ図書館開催について、市広報紙を活用し周知に努めた。
- ・ 対面朗読サービスの案内、図書館だより、行事案内チラシ等を市内各所に配付・掲示し、PRの強化に努めた。

ミニ図書館の実績（4月～2月）※月2回
 津久茂交流プラザは7月まで

場 所	利用者数	利用冊数
津久茂交流プラザ	10	44
切串交流プラザ	162	591
三高会館	86	242

3 評価

評価指標	人口1人当たりの年間貸出冊数及び年間来館回数
基準値 （令和4年度時点）	① 年間貸出冊数 3.32 冊 ② 年間来館回数 1.44 回
目標値 （令和6年度）	① 年間貸出冊数 3.42 冊 ② 年間来館回数 1.54 回
実績値 （令和6年度）	① 貸出冊数 3.84 冊 ② 来館回数 2.04 回

【総合評価】

- 達成率（①貸出冊数 78,063 冊÷R7.3 末人口数 20,286 人÷R6 目標値 3.42 冊÷112.5%、②来館者数 41,515 人÷R7.3 末人口数 20,286 人÷R6 目標値 1.54 回÷132.9%）
- 貸出冊数、来館回数ともに年間目標値を達成した。

4 改善策

- 図書館利用案内や図書館だより等を市内各所に配布又は掲示し、PRを強化する。
- WEBでの貸出し延長を可能とし、利用者の利便性に努める。
- 「DVD上映会」「かみしばいごや」など親子で楽しめる催しを開催し、来館者数の増加を図る。

令和6年度 点検評価票〔最終〕

中期経営目標	「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進
短期経営目標	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。

1 短期経営目標（具体）

さとうみ科学館の利用者の増加を図る。（目標値：来館者数 3,100 人・事業参加者数 8,400 人）

2 取組・方策

- 休日開館を試験的に実施（実証実験）
 - ・毎週土曜日開館
 - ・クイズラリー形式の館内見学プログラムを実施
- 主催事業・支援事業の工夫
 - ・特別展「さとうみラボ」開催（7月20日～2月17日）
 - ・「さとうみ学習」への支援、市内全小学校におけるクラブ活動支援
 - ・市内外からの施設見学受入（米国コロンビア大学生）、事業支援（科学の甲子園ジュニア）
- 市広報、マスメディア、SNS等の活用によるPR強化
 - ・市広報（休日開館告知：毎月）、新聞他（6回）、テレビ（7回）、SNS（6回）

来館者数（人）

月	平成30年度			令和5年度			令和6年度		
	市内	市外	合計	市内	市外	合計	市内	市外	合計
合計（3月末）	1,971	870	2,841	1,697	1,660	3,357	1,881	2,490	4,371

※平成30年度は休日開館（実証実験）なし

事業数（回）・事業参加者数（人）

事業名	平成30年度		令和5年度		令和6年度	
	事業数	参加者数	事業数	参加者数	事業数	参加者数
学校教育	106	5,648	132	2,531	117	3,328
社会教育	67	2,627	86	3,051	64	2,532
合計（3月末）	173	8,275	218	5,582	181	5,860

3 評価

評価指標	来館者数・事業参加者数
基準値 （平成30年度時点）	来館者数 2,841 人・事業参加者数 8,275 人
目標値（令和6年度）	来館者数 3,100 人・事業参加者数 8,400 人
実績値（令和6年度）	来館者数 4,371 人・事業参加者数 5,860 人
【総合評価】	
○来館者数は、平成30年度・令和5年度同時期実績を上回った。	
○事業参加者数は、令和5年度実績（5,582人）を上回っているが、平成30年度実績（8,275人）を下回った。	

4 改善策

- 今後も、計画的にPR活動を行いながら、引き続き、休日開館（実証実験）等の来館事業の工夫を行うとともに、主催・共催・支援事業の内容を充実させることで、目標値に近づける。
- コロナ後の状況を精査するとともに、次期市総合計画及び教育大綱を踏まえた基準値・目標値の設定を行い、令和7年度からの経営計画を見直す。

3 外部評価委員の意見

外部評価委員名簿

	氏名	備考
委員長	渡辺 高久	市関係者 (元江田島市教育委員会教育次長)
副委員長	藤本 真砂子	社会教育関係者 (社会教育委員)
委員	沖元 成寿	学校関係者 (元三高中学校校長)

(1) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、児童生徒の実態に応じた、個別最適な学びと協働的な学びの実践を進めるため、授業改善に取り組んだことを評価したい。

また、ICTを活用した教育の推進は、児童生徒の個々の課題やつまずきを把握でき、効果的に授業改善を行える取組であるとともに、働き方改革にもつながっており、より一層の取組の推進に期待したい。

目標値を達成できなかったことは残念だが、小学校は全学年で目標を達成しており、着実に学力の定着につながっている。

引き続き、次年度への改善策を着実に実施し、目標を達成するよう、より一層の取組をお願いしたい。

(2) 道徳教育、人権教育の充実を図る

道徳教育と人権教育は、それぞれ児童生徒の人間形成に不可欠であり、相互に補完し合う役割を担うものである。道徳教育は、児童生徒が人間としての在り方を自覚し、人生をよりよく生きるために、その基盤となる道徳性を育成することを目的とし、人権教育は、全ての人々が平等に尊重される社会を築くために、人権の知識と意識を深めることを目指すもっとも重要な教育の一つであると考えている。

江田島市は、これまで道徳教育、人権教育の充実を図るため、県の指定を受け、江田島市道徳教育推進協議会を実施するなど、教職員一人一人が道徳教育、人権教育に対する意識の高揚を図る取組も実施しており、その結果、昨年度に続き目標を達成できたことを高く評価したい。

今後も道徳教育、人権教育の充実が図られることを期待し、各学校への更なる指導助言をお願いしたい。

(3) 運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る

少子高齢化に伴い、同世代の子どもたちが減少し、友だちどうしで気軽に遊ぶことも難しくなっており、児童生徒の体力低下が危惧される中、「運動やスポーツは楽しい」と感じる児童生徒の経験（体験）の醸成は、重要な課題であると考ええる。

本市は自然豊かな環境に恵まれており、本市の特色を生かし、体育の授業にマリンスポーツなどを取り入れる手法は、アプローチとしてすばらしい取組である。

目標値を達成できなかったことは残念であるが、中学2年生の男子の数値は上昇しており、引き続き、授業改善を図り、「運動やスポーツは楽しい」と感じる児童生徒が増えていくよう、教職員への更なる指導助言に取り組んでいただきたい。

(4) 教職員による不祥事を0「ゼロ」を継続する

ここ数年間、不祥事は生起していなかったこともあり、目標を達成できなかったことは、非常に残念に思う。

教職員の現場では様々なストレスがあり、教職員の悩みや健康状態、小さな変化を見逃さないことや、気軽に相談できる体制づくりが重要であり、現在も取り組んでいただいているとは思いますが、より一層の取組をお願いしたい。

また、引き続き、研修等指導助言を行うとともに、実際に起こっている身近な事案などを情報発信することで、教職員一人一人の意識を高め、再発防止に努めていただきたい。

(5) 実施事業に対する満足度の向上を図る

実施事業に係るアンケートでは、「とても満足した」「満足した」が多く、市民ニーズを捉えた、魅力ある企画づくりに取り組まれたことを評価したい。

とりわけ、歴史講座の満足度が高く、市民のニーズに合った事業となっているが、参加できる人数に限りがあり、受け入れ態勢の拡充等、更なる取組に期待したい。

目標を達成できなかったことは残念であるが、アンケート結果を踏まえ不満等の要因を改善し、更なる満足度の向上につなげていただきたい。

これからも、市民ニーズを捉え、他部署と連携した事業の継続、PR強化等、充実した展開を大いに期待したい。

(6) 公共スポーツ施設の利用促進を図る

江田島市スポーツセンターのトイレの温水洗浄化など、利用者の利便性の向上に資する取組を行ったことを評価したい。

また、監視カメラの設置により、今年度は高齢者等のけがもなく、安心・安全な施設利用が行われたことを高く評価したい。

公共スポーツ施設の利用回数の目標も達成しており、今後も、利用者の視点に立った改善に取り組んでいただくとともに、PR活動を積極的に行っていただき、施設の利用者が更に増えることを期待したい。

(7) 図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る

「本でめぐる 江田島しましまスタンプラリー」は参加者も増えており、それに伴って、図書館への来館者数も増えるという相乗効果を生み、非常に良い企画である。

市民が図書館を身近に感じ、本を読む楽しさを感じてもらうための取組、図書館職員の接客の良さ、返還用ポストの設置等、利用者の図書の返還の利便性を図る取組などにより、目標値とした「人口1人当たりの年間貸出冊数及び年間来館回数」を今年度も達成できたことを評価したい。

ミニ図書館の利用者も年々増加しており、市民ニーズに応えられるよう継続し

て実施していただきたい。

今後も利用者増加につながる取組を期待したい。

(8) さとうみ科学館の利用者の増加を図る

認定こども園、小学校、中学校と長期的な連携を図りながら取り組んでいく里海学習は、こどもたちの将来の可能性を広げる取組であり、高く評価したい。

また、利用者の利便性を図るため、休日開館や主催事業・支援事業の工夫、SNS等を活用した積極的なPRにより、市外からの利用者が増加していることを評価したい。

目標値を達成できなかったことは残念であるが、江田島市外での認知度も着実に高まってきており、更なる利用者の増加につながるものと感じている。

実際に生物と触れ合える、県内でも数少ない施設であり、本特色を生かし、市内外からの利用者が更に増加することを期待したい。

4 総合評価

市の総合計画を受け、令和6年度教育委員会経営計画が採択され、重点的に取り組まれた8事業について、意見を付した。

8事業とも、短期目標の達成に向けた取組が、十分になされていた。

どの事業も容易に達成できる目標ではなく、また、人口減、高齢化、少子化等の問題が進行する現状において、目標を達成するため、様々な取組を状況に合わせて実施していることを高く評価したい。

学校現場においても、ICTを活用した授業改善を行い、児童生徒の実態に合った教育の実施を推進するとともに、教職員の働き方改革にも取り組んだ。

また、魅力ある事業づくりの推進に向け、市民ニーズを把握し、市民の目線に立ち、利用者の利便性に配慮した取組は、教育委員会事務局職員一人一人の仕事に対する強い意気込みの表れであると感じた。

次年度からは新たな市総合計画のもと、取組を行うこととなるが、従来に固執することなく、目的達成のための取組がなされることを期待している。

今後も他部署や関係機関等との連携を図りつつ、取組が更なる充実・発展することを願っている。

5 その他

(1) 教育委員会の活動状況

ア 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
教育長	岡田 學	男	元教育関係者
教育長職務代理者	三島 雅司	男	元行政関係者
委員	長坂 睦子	女	保護者
委員	小宇根 康典	男	元教育関係者
委員	長迫 香	女	保護者

イ 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回、臨時会 2回

そのうち 6月17日(月) 鹿川小学校訪問

10月21日(月) 江田島中学校訪問

1月20日(月) 中町小学校訪問

ウ 教育委員会会議の議決事項

番号	期日	種別	件名
1	4月15日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度江田島市教育委員会経営計画自己評価表及び点検評価票(最終) 令和6年度江田島市教育委員会経営計画及び自己評価表 学校評議員の委嘱 学校運営協議会委員の任命・委嘱 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事 江田島市社会教育委員の委嘱 江田島市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱 大柿自然環境体験学習交流館運営委員会委員の委嘱
2	5月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度に市立学校で使用する教科用図書の採択基本方針案 学校運営協議会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事 江田島市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱
3	6月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市教育委員会事務点検・評価報告書(令和5年度事業対象)案 請願書(2025年度使用中学校教科書の採択に係る請願) 令和6年度江田島市一般会計補正予算(第1号)(教育委員会関係分) 令和6年度江田島市一般会計補正予算(第2号)(教育委員会関係分) 江田島市学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免そ

			の他の人事
4	7月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則案 江田島市教育支援委員会委員の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
5	8月19日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度使用教科用図書（中学校）の採択 令和7年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級）の採択 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案 江田島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 江田島市教育委員会の事務局の組織に関する規則等の一部を改正する等の規則案 江田島市人権教育推進会議設置要綱及び江田島市教育関係施設使用料の減免に関する要綱の一部を改正する告示案 江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令案 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事 学校施設環境改善交付金（LED改修等）
6	9月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度江田島市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会関係分） 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
7	10月21日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> 江田島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
8	11月18日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> えたじまオーリーブ賞表彰要綱の一部を改正する告示案 江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案 江田島市放課後児童クラブ管理運営規則の一部を改正する規則案 江田島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事

9	12月16日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案 ・令和6年度江田島市一般会計補正予算(第5号)(教育委員会関係分) ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
10	1月20日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・えたじまオリーブ賞の被表彰者の決定 ・社会教育委員の選任 ・学びの館運営委員会委員の選任 ・文化財保護委員会委員の選任 ・図書館協議会委員の選任 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
11	2月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市教育委員会公印規則等の一部を改正する規則案 ・江田島市立小・中学校児童生徒通学費交付要綱の一部を改正する訓令案 ・令和6年度江田島市一般会計補正予算(第7号)(教育委員会関係分) ・令和7年度江田島市一般会計予算(教育委員会関係分) ・江田島市スポーツ推進委員の委嘱 ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
12	3月17日	定例会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市教育委員会事務局決裁規程の一部を改正する訓令案 ・江田島市立小中学校諸費会計等取扱要項等の一部を改正する告示案 ・江田島市学校規模適正化検討委員会設置要綱案 ・公立学校情報機器整備事業に係る各種計画案 ・江田島市教育委員会外部評価委員会委員の委嘱
13	3月17日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事
14	3月21日	臨時会	<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市教育委員会の職員の任免

(2) 教育長及び教育委員の活動

ア 研修会等への出席

期日	件名	場所	出席者
4月15日	第1回広島県市町教育長会議	広島市	教育長
4月22日	広島県都市教育長会春の総会	Web会議	教育長
5月16日	第1回管内教育長、部・課長等会議	広島市	教育長
5月30日	広島県市町教育長会定期総会	広島市	教育長

7月5日	広島県女性教育委員グループ第1回研修会	広島市	委員1名
10月30日	広島県市町教育委員研修会	広島市	教育長 委員1名
11月15日	第2回管内教育長、部・課長等会議	広島市	教育長
11月11日	広島県女性教育委員グループ第2回研修会	竹原市	委員2名
11月18日	第1回総合教育会議	江田島市	教育長 委員3名
1月23日	第2回広島県市町教育長会議（兼）第2回広島県 GIGA スクール推進協議会	広島市	教育長
3月17日	第2回総合教育会議	江田島市	教育長 委員4名

イ 式典への出席

小中学校卒業式及び入学式への出席

ウ その他

各委員による学校行事を始めとする教育委員会所管施設の各種行事への参加、各種委員としての参加

令和6年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

児童生徒が夢や目標を持って学び、育ち、市民一人一人が、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じて輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が「学ぶ喜び つながる楽しさ」を実感し、生涯を自立的に生き抜き、未来を切り拓くために必要な資質・能力の育成を義務教育の使命とし、知・徳・体をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育を始め、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○全ての教育活動を通じて知・徳・体がバランスよく育成されるとともに、生命を尊び、自然を大切に、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される安全・安心な学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○「主体的な学び」が定着している児童生徒の割合（令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(13)～(27)の肯定的回答割合の平均値による）

→ 小学校 83.1% 中学校 76%

○江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回った学年の数

→ 6/8（小1・2・4・5・6、中1）※中3を除く

○自己実現力・自己有用感がある児童生徒の割合（令和5年度広島県児童生徒学習意識等調査児童生徒質問紙：(44)～(48)の肯定的回答割合の平均値による）

→ 小学校 87.2% 中学校 79.8%

○「運動やスポーツが好き」に対する肯定的回答の割合（令和5年度広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙による）

→ 小5男 96.0% 女 84.8% 中2男 95.2% 女 83.7%

○教職員の懲戒処分

→ 0件（軽微な交通事故や交通違反、教員間におけるセクシャルハラスメント及びパワー・ハラスメント等の事案や報告が数件あり、確認及び指導を行った。）

【生涯学習課】

○令和5年度の市美術展、灘尾弘吉没後30年及び早瀬大橋開通50周年特別展、人権学習講演会、歴史講座の満足度の加重平均は、4.42であった。（来場者アンケート）

○令和5年度のスポーツセンター1人当たりの利用回数は1.50回、総合運動公園1人当たりの利用回数は、0.68回である。

○図書館の令和5年度1人当たりの年間貸出数は3.79冊、1人当たりの年間来館回数は2.01回である。

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和5年度の来館者数は、3,357人である。（平成30年度実績2,841人）

主催事業・支援事業を含む令和5年度の総事業参加者数は、5,582人である。（平成30年度実績8,275人）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の実態に応じ、個別最適な学びと協働的な学びの視点から授業改善に挑戦している教員と、授業づくりについて考える研修の機会を複数回設ける。 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて最新の知見を取り入れるため、主催研修において、外部講師を招へいし、研修を充実させる。 ○主催研修において、学力調査を基にした各校の進捗状況を確認し、指導助言を行う。
		道徳教育、人権教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな心と身体育成課と連携を図り、児童生徒が主体的に取り組を進めている自治的活動のヒントとなる好事例等を各校に情報提供する。 ○江田島市道徳教育推進協議会の取組を各校に発信し、道徳教育の充実を図る。 ○「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」を基に、キャリア教育と各教科の取組を関連付けた指導助言を行う。
		運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○広島県及び全国の児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、児童生徒の実態に応じた授業改善を図るよう指導助言を行う。 ○県教委等と連携を図り、運動やスポーツに対する関心を高め、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育み、個の目標に向けた体力づくりを継続的に行う。 ○体力向上推進協議会において、外部講師を招へいするなど、体力づくりの研修の機会を設ける。
安全・安心な学校づくりの推進	教職員による不祥事を0（ゼロ）を継続する。	<ul style="list-style-type: none"> ○校長会、教頭・事務長会において、服務規律の確保に関して講話を行うとともに、各校の服務規律に係る校内研修の好事例（風通しの良い職員集団づくり等）を紹介するなど、不祥事防止に向けた取組を工夫し、進捗状況を確認していく。 ○体罰・セクハラアンケートを継続し、実態把握及び早期対応に努める。 ○教育課程の確実な実施について、各校の取組状況を把握するとともに、必要に応じて指導助言を行う。 	
生涯学習課	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足度の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高めるように内容を充実させる。 ○事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○関係機関と連携を図るとともに、市広報や市のライン等のSNSなどを活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。 ○修繕等の対応をし、施設の整備に努める。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○「スタンプラリー」「読書貯金通帳」等の活用により、自主的な読書活動を促す。 ○参加型講座や読み聞かせ等の実施により、来館者の増加を図る。 ○「子ども司書」養成講座を実施する。 ○サービス案内や、施設利用案内のチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、行事等のPRを強化する。
里海教育	里海科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○観察会などの主催事業や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。（休日開館の試験的導入：実証実験）。 ○学校教育や地域活動への支援形態を工夫することで、里海を教育資源とした支援事業の場や機会を充実させる。 ○広報紙やSNS、地域おこし協力隊等の活用により、PR強化を図る。

令和6年度 自己評価表〔最終〕

中期経営目標	短期経営目標	評価指標	基準値 (目標設定年度)		各年度における目標値および実績値			改善策
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
学校教育	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	「主体的な学び」が定着している児童生徒の割合	小69.4% 中62.5%	小学校 70% 中学校 70% ※ 1月調査	小学校 70% 中学校 70% ※ 1月調査	小学校 80% 中学校 80% ※ 1月調査	・中学校において学力調査の目標を達成できていないことから、特に課題のあった教科に関して、個別最適な学びと協働的な学びの観点から、授業づくりについて考える研修を複数回実施する。 ・学力に課題のある児童生徒の学力向上を図るため、外部講師を招へいし、学力の向上に応じた具体的な指導等指導における個別の支援や系統的な支援の充実に向けた主体的な教科研修を実施する。 ・主催研修において、学力調査を基にした各校の取組状況を把握し、指導助言を行う。	
		江田島市小中学校学力調査の各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回った学年の割合	4/8 (小1・3・5・6学年)	全ての学年において各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回る。	小学校 76.6% 中学校 76.1%	全ての学年において各教科の平均正答率の合計が目標値の合計を上回る。	—	
	知・徳・体の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現	道徳教育、人権教育の充実を図る。	自己実現力・自己有用感がある児童生徒の割合	小81.5% 中72.1%	6/8 (小1・2・3・4・5・6学年)	小学校 85% 中学校 75% ※ 1月調査	小学校 90% 中学校 85%	・県の指定を受けた大府中学校区道徳教育推進拠点地域事業の公開研究会に各校の道徳教育推進教師を参加させるとともに、江田島市道徳教育推進協議会において、道徳アンケート結果を基にした協議を充実させる。 ・広島県の15歳の生徒に身に付けておいてほしい力を基に、キャリア教育と各教科の取組を関連付けた指導助言を行う。 ・「さとうみ学習」の推進により、海のことに関する学習や体験活動の充実を図り、児童生徒の自己実現力・自己効力感及び愛の醸成に努める。
		運動習慣の確立に向けた取組の充実を図る。	「運動やスポーツが好き」と答える児童生徒の割合	小5男93.4% 小5女87.2% 中2男79.1% 中2女73.1%	小学校 87.2% 中学校 79.8%	小5男・女90%以上 中2男90%以上・女80%以上 ※ 1月調査	小5男95%以上・女90%以上 中2男90%以上・女80%以上	・全国及び広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を基に、児童生徒の実態に応じた授業改善を図るよう指導助言を行う。 ・小・中学校体育推進推進リーダータワー等研修の機会を活用するなどして、生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度を育む取組を継続的に行う。 ・体育科の教材の内容及びマリンスポーツの体験を関連付けた学習指導の機会を設けるなどの工夫を行う。
	安全・安心な学校づくりの推進	教職員による不祥事を0(ゼロ)を継続する。	懲戒処分件数	0件	0件	0件	0件	・校長会等において、「服務規律の確保」に関して講話を行うとともに、各校の服務規律に係る校内研修の好事例を紹介するなど、不祥事防止に向けた取組を工夫し、進捗状況を確認していく。また、各校の研修等について、サイボウズを利用し共有を図り、必要に応じて活用できるようにする。 ・体調・セクハラアンケートを継続し、実態把握及び早期対応に努める。 ・教育課程の確実な実施に向け、全体で周知が必要となる内容については、校長会等で指導を行う。
			実施事業に対する満足度の満足度	満足度 4.46	満足度 4.47	満足度 4.48	満足度 4.49	
	魅力ある事業づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	実施事業に対する満足度の満足度	満足度 4.46	満足度 4.42	満足度 4.43	満足度 4.49	・市民のニーズに対応するため、アンケートを実施し、事業内容を充実させる。 ・関係機関と連携を図り、円滑な運営に努める。 ・市民報やSNSなどを積極的に活用することで、PR強化を図る。
			人口1人当たりのスポーツセンター及び総合運動公園の利用回数	スポーツセンター 1.34回 総合運動公園 0.62回	スポーツセンター 1.39回 総合運動公園 0.67回	スポーツセンター 1.44回 総合運動公園 0.72回	スポーツセンター 1.49回 総合運動公園 0.77回	
	健康づくり、体力づくりを推進する。	図書館の充実を図る。	人口1人当たりのスポーツセンター及び総合運動公園の利用回数	スポーツセンター 1.34回 総合運動公園 0.62回	スポーツセンター 1.50回 総合運動公園 0.68回	スポーツセンター 1.56回 総合運動公園 0.64回	—	・施設利用者の利便性を考慮しながら、安全・安心に施設を利用してもらえようとする。また、通直、修繕、改修を実施する。 ・各スポーツ関係団体と連携を図り、市民へのPRに努める。
			図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	年間貸出冊数 3,321冊 年間来館回数 1,441回	年間貸出冊数 3,377冊 年間来館回数 1,490回	年間貸出冊数 3,427冊 年間来館回数 1,540回	年間貸出冊数 3,477冊 年間来館回数 1,590回	
異文化理解教育	「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進	来館者数	来館者数 2,841人 事業参加者数 8,275人 ※コロナ禍前の平成30年度を現状値とする。	来館者数 3,000人 事業参加者数 8,300人	来館者数 3,100人 事業参加者数 8,400人	来館者数 3,200人 事業参加者数 8,500人	・図書館利用案内や図書館より等を市内各所に配布・掲示し、PRを強化する。 ・webでの貸出延長を可能とし、利用者の利便性の向上に努める。 ・親子で楽しめる催しを開催し、来館者数の増加を図る。	
		「里海」を教育資源とした特色ある教育の推進	来館者数 2,841人 事業参加者数 8,275人 ※コロナ禍前の平成30年度を現状値とする。	来館者数 3,357人 (118%) 事業参加者数 5,582人 (67.5%)	来館者数 4,371人 (141%) 事業参加者数 5,860人 (69.8%)	来館者数 5,391人 (189%) 事業参加者数 7,860人 (94.8%)		